

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年11月25日

福岡地方裁判所第4民事部

裁判所書記官 河 野 広 和

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7年12月10日から 令和 7年12月17日まで
開札期日	日 時 令和 7年12月23日 午前 9時30分 場 所 福岡地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年 1月 7日 午前 9時50分 場 所 福岡地方裁判所第4民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。同証明書の交付については、物件所在地の農業委員会にお尋ね下さい。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7年11月25日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	16,370,000 13,096,000	一括	3,274,000	110,205	26,898
1	4,930,000				
2	11,440,000				



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 福岡市東区多々良二丁目 |
| | 地 番 | 402番8 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 146.23平方メートル |
| 2 | 所 在 | 福岡市東区多々良二丁目402番地8 |
| | 家屋 番号 | 402番8 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 52.99平方メートル
2階 45.13平方メートル |



物 件 明 細 書

令和 7年10月16日

福岡地方裁判所第4民事部

裁判所書記官 小 西 智 子

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

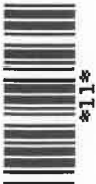
本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

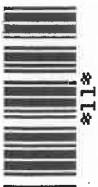
なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。



- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 福岡市東区多々良二丁目 |
| | 地 番 | 402番8 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 146.23平方メートル |
| 2 | 所 在 | 福岡市東区多々良二丁目402番地8 |
| | 家屋 番号 | 402番8 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 52.99平方メートル
2階 45.13平方メートル |



令和7年(ケ)第 120号
令和7年 8月26日受理
令和7年 10月 7日提出

現況調査報告書

福岡地方裁判所

執行官 濱 崎 賢 治

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 福岡市東区多々良二丁目 |
| | 地 番 | 402番8 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 146.23平方メートル |
| 2 | 所 在 | 福岡市東区多々良二丁目402番地8 |
| | 家屋 番号 | 402番8 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレートぶき2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 52.99平方メートル
2階 45.13平方メートル |

(土地・建物用)

不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	福岡市東区多々良2丁目34番12号		
土地	物件1		
現況地目	☒ 宅地(物件 1) ☐ 公衆用道路(物件) ☐ (物件)		
形状	☐ 公図のとおり ☒ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本件土地に下記建物を所有し、占有している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物(目的外建物)	☒ ない ☐ ある	種類: 構造: 床面積:	
その他の事項	目的外物件としてNTT西日本(株)所有の電柱1本がある。		
建物	物件2		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる(☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☐ 床面積:		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある	種類: 構造: 床面積:	
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本件建物を住居として使用して占有している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)		
その他の事項	オール電化仕様		
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある	地方裁判所 支部 令和 年()第 号 ☐ 保管開始日 令和 年 月 日	
土地建物の位置関係	☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(2枚目) (注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■福岡市水道事業管理者	(ライフライン調査に対する回答) 契約者氏名 所有者 契約年月日 令和元年11月13日～入居中 水道使用量 令和7年5月 42m ³ 同 7月 40m ³

執行官の意見

■ 1 (接道関係等)

本件土地は、公図どおり公道(地番402番1)に接している。

2 (本件土地の形状等)

本件土地には、現地復元性を有する図面があり、擁壁等で区画されており、境界の角地すべてに境界標がある。形状は、前記図面のとおりで考えられる。

3 (本件建物の占有状況等)

本件建物の占有状況は、関係人の陳述、ライフライン照会に対する回答等から、2枚目記載のとおりと認めた。建物内の状況から所有者の妻が子と債務者とは別に生活している可能性があると考え、所有者及びその妻に対する照会書をそれぞれ本件建物の郵便受けに投函したが回答がなかったため同妻は、独立した占有を主張する意思がなく、所有者の占有補助者となるものと考えられた。

4 (本件建物の傷み等)

本件建物には、特別な傷みは見当たらなかった。

5 (所有者からの聴取)

所有者に対する照会書を本件建物の郵便受けに投函したが、回答がなかったため、所有者からの聴取はできなかった。

(調査経過用)

調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和7年 8月26日(火) 15:00-15:20	物件所在地	外観調査, 在宅依頼書投函
令和7年 8月27日(水) 10:40-11:10	軽自動車検査協会	本件建物の駐車場に駐車していた軽自動車の自動車検査証入手
令和7年 8月27日(水) 11:30-11:50	東区役所税務課	間取図交付申請
令和7年 8月27日(水) 13:30-13:50	福岡法務局	公図等入手
令和7年 9月 4日(木) 14:40-15:00	物件所在地	物件1立入調査, 物件2占有者不在のため調査中止
令和7年 9月 5日(金) 11:30-11:45	執行官室	福岡市水道局へ水道使用量等照会書送付
令和7年 9月17日(水) 15:40-16:30	物件所在地	物件2立入調査, 写真撮影
令和7年 9月19日(金) 10:30-10:50	福岡市住民票等郵送センター	住民票入手
令和7年 9月22日(月) 17:00-17:10	物件所在地	所有者及びその妻に対する照会書投函
令和 年 月 日() : - :		
令和 年 月 日() : - :		
令和 年 月 日() : - :		
令和 年 月 日() : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので, 解錠技術者を同行して臨場した。 ☒ 令和7年9月17日 目的物件は不在で施錠されていたので立会人 A を立ち会わせ, 技術者に解除させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。		

(5枚目) (注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり

イ 402-46
ロ 416 ハ 409-2
ニ 道 ホ 水
ヘ 391-79



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部	所在	福岡市東区多々良二丁目				地番	402番8			
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日					備付年月日(原図)			補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年8月27日
福岡法務局

請求番号：20-1
(1/1)

登記官

(6 枚目)

(6 ~ 8 枚目 A3 版から A4 版に縮小)

公用

登記年月日：平成30年7月10日

これは図面に記載されている内容を証明した書面である。
令和7年8月27日 福岡法務局

登記官

(7枚目)

請求番号：20-2

地積測量図

地番 402-8、402-64、402-65
土地の所在 福岡市東区多々良二丁目

世界測地系による成果

求積表

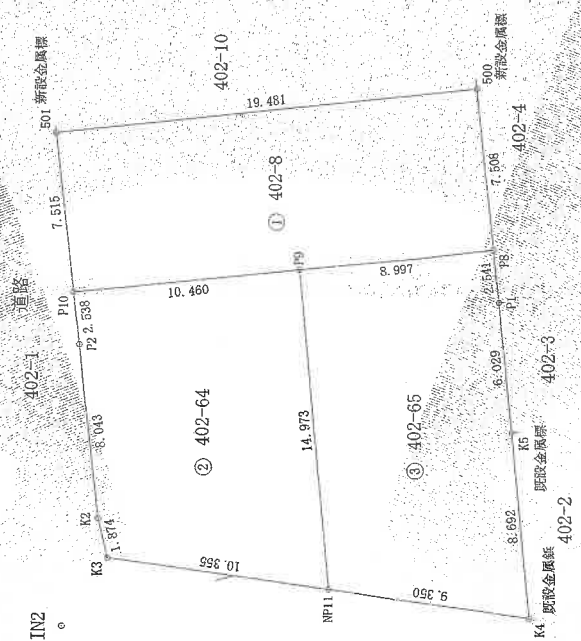
地番	① 402-8				
N0	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn+1-Xn-1	
501	70393.302	-51293.166	-9.351	-653247.767002	
P10		-51300.574	-6.465	-454353.406760	
P9	70392.472	-51299.860	1.686	-132740.567046	
P8	70382.061	-51298.968	8.337	-385700.584722	
500	70372.106	-51298.968	5.583	-392897.550696	
	70372.912	-51291.523		-292.471298	
		合計		-1462356490	
		合計面積		146.23 m ²	

地番	② 402-64				
N0	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn+1-Xn-1	
P10	70392.472	-51300.574	3.536	-248907.730992	
P9	70382.061	-51299.860	-13.892	-977747.591412	
NP11	70380.641	-51314.766	-13.356	-940003.841196	
K3	70390.879	-51313.216	3.377	-237709.996383	
K2	70391.298	-51311.389	9.820	-691242.646390	
P2	70392.190	-51303.396	10.515	-740173.877850	
		合計		-282.770977	
		合計面積		141.38 m ²	

地番	③ 402-65				
N0	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn+1-Xn-1	
P9	70382.061	-51299.860	15.778	-1110488.158458	
P8	70373.106	-51298.968	-1.655	-116467.490430	
P1	70372.543	-51301.515	-8.524	-598958.113732	
K5	70372.221	-51307.512	-14.650	-1039963.037650	
K4	70371.396	-51316.165	-7.254	-510474.106584	
NP11	70380.441	-51314.766	16.305	-1147556.351505	
		合計		-291.701567	
		合計面積		145.88 m ²	

測量年月日 平成30年7月2日
図素

経緯度	点名	X座標	Y座標	備考
IN1		70396.823	-51293.783	
IN2		70392.977	-51316.380	
30055		70396.209	-51295.822	街区基準点
30056		70392.453	-51296.863	街区基準点



作成者

申請人

縮尺

1/250

平成30年6月1日作成

登記年月日：令和1年8月27日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年8月27日 福岡法務局

登記官

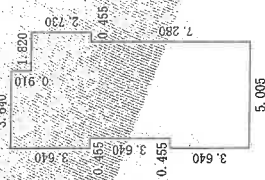
(8 枚目)

建物図面
各階平面図

家屋番号 402番8

建物の所在 福岡市東区多々良二丁目402番地8

1階



求積表

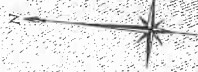
3.640 × 0.910 =	3.312400
5.460 × 2.730 =	14.905800
4.550 × 7.280 =	33.124000
0.455 × 3.640 =	1.656200
計	52.998400
床面積	52.99㎡

2階

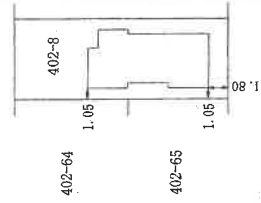


求積表

5.005 × 3.640 =	18.218200
2.275 × 2.730 =	6.210750
4.550 × 3.640 =	16.562000
0.455 × 2.730 =	1.242150
3.185 × 0.910 =	2.898350
計	45.131450
床面積	45.13㎡



402-1



作成者

縮尺 1/250

年 8 月 22 日 (行 政)

申請人

縮尺

1/500

土地建物位置関係図



道路



電柱
(目的外物件)

目的物件 1
402-8

402-64

玄関ポーチ

402-10

目的物件 2

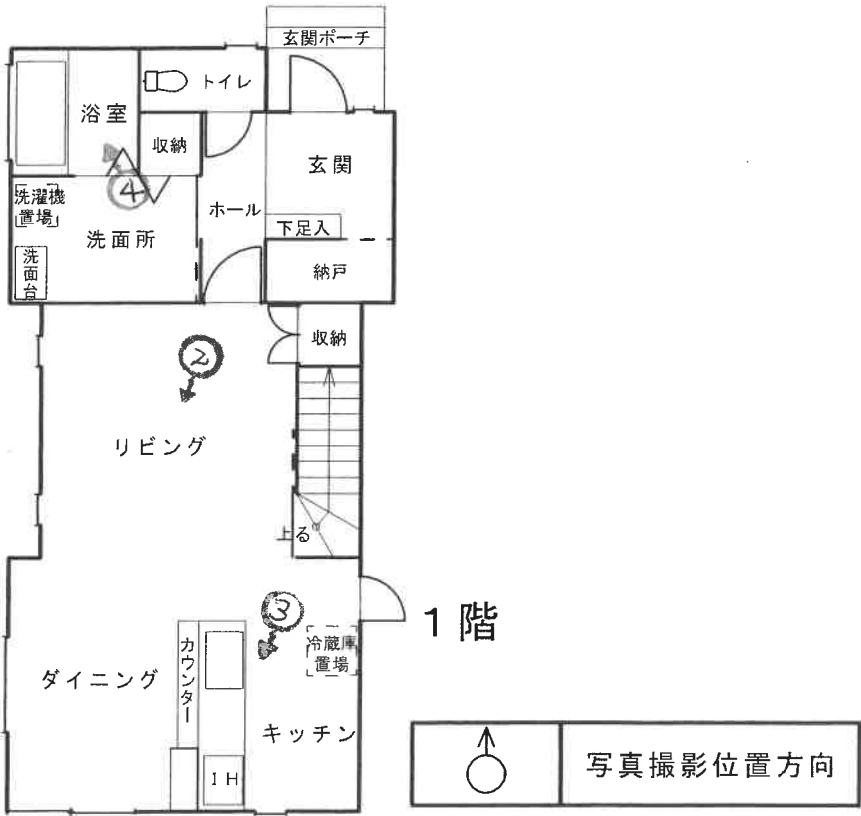
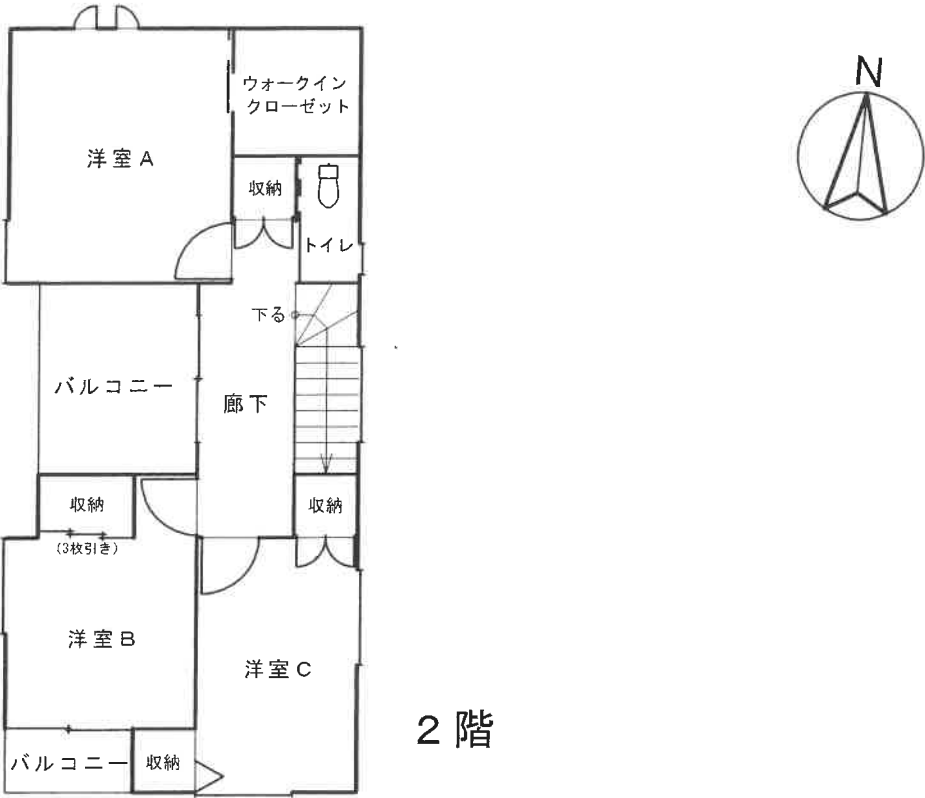
402-65

402-4



写真撮影位置方向

間 取 図



1 本件建物



2 LDK



3 同(キッチン)



4 浴室



令和 7 年（ケ）第 120 号
令和 7 年 9 月 17 日 現地調査
令和 7 年 9 月 27 日 評 価

福岡地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士
宮 崎 浩

第1 評価額

一括価格	
金 16,370,000 円	
内訳価格	
物件1（土地）	金 4,930,000 円
物件2（建物）	金 11,440,000 円

- ① 一括価格は、物件1～2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- ② 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については、原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	福岡市東区多々良二丁目 402 番 8 宅地 146.23 m ²	特記事項のとおり
2	所 在 家 屋 番 号 種 類 構 造 床 面 積	福岡市東区多々良二丁目 402番地8 402 番 8 居宅 木造スレートぶき2階建 1階 52.99 m ² 2階 45.13 m ²	同上
番号	特 記 事 項		
1	数量については、現地の状況や建物の配置等により正確に確認できないが、地積測量図があり、その図面と現地における状況がおおむね符合するので、登記地積を採用して評価した。 目的外物件として、電柱がある。		
2	数量については、登記数量とほぼ同じ。		
住 居 表 示		福岡市東区多々良2丁目34番12号	

第4 目的物件の位置・環境等

1. 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通 (直線距離)	J R鹿児島本線「千早」駅の南東方、約1.8km 西鉄バス「多々良大橋」停留所の北東方、約350m (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	目的物件が所在する近隣は、戸建住宅や低層共同住宅が建ち並ぶ高台の住宅地域である。地勢は南側に下り傾斜である。 なお、地域環境等が変化する要因はなく、今後も現状維持で推移すると予測される。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都 市 計 画 区 分	市街化区域
	用 途 地 域	第1種低層住居専用地域
	建 蔽 率	50%
	容 積 率	80%
	防 火 規 制	地域指定なし
	そ の 他 の 規 制	建築物の高さの最高限度10m
画 地 条 件	地 積	146.23㎡
	形 状	長方形 (別添「公図(写)」参照)
	間 口	約8m
	奥 行	約19m
	接 道 関 係	一方路
	そ の 他	特になし
接 面 道 路 の 状 況	東側で幅員約3.9mの舗装市道と等高に接面（建築基準法第42条第1項の道路に該当。）	
土地の利用状況等	「現況調査報告書」記載のとおり。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : あり ガス配管 : なし（引き込み可） 下 水 道 : あり (注) 敷地内への引き込みを基準とし、「あり」とは引き込みが有る場合、「なし」とは引き込みが無い場合、「なし（引き込み可）」とは、接面道路付近に供給処理施設の配管が有り、通常の費用で敷地内へ引き込むことが可能な場合、「不明」とは、所有者等へのヒアリングが出来ない場合、市役所等の管理者での確認事項に疑義がある場合等で、確認・調査が困難な場合である。	
特 記 事 項	・現地調査、関係者等からの聴取及び官公署における公表資料を調査した範囲では、埋蔵文化財包蔵・土壌汚染・土砂災害をうかがわせる事実は認められなかった。 ・接面道路は、幅員が4m未満であるが、上記のとおり42条1項の道路と福岡市は判定している。市の担当窓口では、4mを切っている部分についてはセットバックが必要となる、との回答であった。なお、市が1項道路と認定しているのは目的物件の前面より西側のみであり、東側についてはいわゆる法外道路の取扱いになる。 ・上記バス停から物件1に至るまで、一部上り坂となっており、その標高差は約14mである。	

2. 建物の概況及び利用状況（物件2）

建築時期及び経済的残存耐用年数等	建築年月日（登記記載）：令和1年8月2日 新築 経過年数：約 7 年 経済的全耐用年数：約 25 年 経済的残存耐用年数：約 18 年
仕 様	構造：木造2階建 屋根：スレートぶき 外壁：サイディングボード張りほか 天井：ビニールクロス貼 ほか 床：フローリングシート ほか 内壁：ビニールクロス貼 ほか 設備：電気、給排水設備 等 その他：オール電化
床面積（現況）	未登記の増築並びに滅失部分はなく、登記上の床面積とほぼ同様である。
現況用途等	現況用途：居宅 間取り：3LDK （別添「間取図」参照）
品 等	使用資材：普通 施工状態：普通
保守管理の状態	やや劣る
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり。
特 記 事 項	・建物に付属する各種設備については、動作確認までは出来ないため、使用可能かどうか不明である。 ・建物に付属する建具については、そのすべてについて動作確認を行っていないので、支障なく施錠・開閉等可能かどうか不明である。 ・室内いたるところに、衣類等が散在している。 ・外部建具（窓）は、掃き出し窓のような開口（ガラス）面積が大きいものは少なく、横長や縦長のものが多く、相対的に内壁部分の割合が多いため室内からの解放感に欠ける。

第5 評価額算出の過程

1. 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	81,900	0.99	146.23	1.00	11,860,000

【注】計算結果の数値は、万円未満を四捨五入した。（以下同じ）

ア 標準画地価格：標準地「福岡東-33」の公示価格等を規準として査定した。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{公示価格等} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 77,200\text{円/㎡} & \times & \frac{105}{100} & \times & \frac{100}{100} & \times & \frac{100}{99} & = & 81,900\text{円/㎡} \end{array}$$

◇ 時 点 修 正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇ 標準化補正：補正要因なし 1.00

◇ 地 域 格 差：街路条件 接近条件 環境条件 行政的条件 地域格差
0.99 × 1.00 × 1.00 × 1.00 = 0.99

イ 個 別 格 差：セット
バック
0.99
個別格差
= 0.99

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建 付 減 価：建物と敷地との適応の状態、将来発生する解体費用等を考慮した。

(2) 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格 (円) ア×イ×ウ
2	240,000	98.12	0.50	11,770,000
合計				11,770,000

ウ 現価率：（定率法）

減価修正にあたっては、耐用年数に基づく方法のうち定率法を採用し、それにより求めた現価率を基本として、これに観察減価法による補正を施して現価率を査定した。

$$\text{物件2：} \quad R \frac{n/N}{\times (1 \pm q)} = 0.52 \times 0.97 = 0.50$$

項 目	物件区分 物件2
R : 残価率	10%
n : 経過年数	約7年
N : 経済的全耐用年数	約25年
q : 観察減価法による補正率	-3%

* 観察減価法による補正率は、保守管理の状態等を考慮。

2. 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに、競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

(1) 土地利用権等価格

番 号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ
1	11,860,000	0.40	法定地上権	4,740,000
計				4,740,000

イ 土地利用権等割合： 土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を上記のとおり査定した。

(2) 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価格の 控除及び加算 (円) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修 正 エ	競売市場 修 正 オ	評 価 額 (円) (ア±イ)×ウ×エ×オ
1	11,860,000	－ 4,740,000		0.99	0.70	4,930,000
2	11,770,000	＋ 4,740,000	1.00	0.99	0.70	11,440,000
一 括 価 格 (合 計)						16,370,000

ウ 占有減価修正： 修正の必要は無い。

エ 市場性修正： 残置物を考慮した。

オ 競売市場修正： 評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

地 価 公 示 価 格 : 標準地「福岡東-33」

所 在 : 福岡市東区若宮2丁目480番

住 居 表 示 : 若宮2-13-18

価 格 : 77,200 円/㎡ (対前年変動率 6.0%)

価 格 時 点 : 令和7年1月1日

地 積 : 243 ㎡

地 域 の 概 要 : 中規模一般住宅が建ち並ぶ高台の既成住宅地域

接 面 街 路 : 北東側幅員約4m市道

供 給 処 理 施 設 : 水道、ガス、下水

位 置 : JR鹿児島本線「千早」駅の南東方、道路距離2.3km

用 途 指 定 等 : 第1種低層住居専用地域(建蔽率 50%、容積率 80%)

第7 附属資料の表示

1	位置図	2 葉
2	公図(写)	1 葉
3	地積測量図(写)	1 葉
4	建物図面・各階平面図(写)	1 葉
5	土地・建物位置関係図	1 葉
6	間取図	1 葉
7	現況写真	2 葉

以 上

位置図（「国土地理院『電子地形図(タイル)』」より引用）



